

会 議 名	第2回港区保育施設関係補助金審査等業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年6月11日（火曜日）午前10時から午前11時まで
開 催 場 所	港区役所5階514会議室
委 員	（出席者）山辺委員長、中島副委員長、坂本委員、三木委員、清水委員 （欠席者）なし
事 務 局	金子保育支援係長、平松保育支援係員
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 第一次審査結果について 3 第二次審査について 4 閉会
配 付 資 料	<p>[事前配付]</p> <p>資料1 港区保育施設関係補助金審査等業務委託事業候補者選考一次審査結果</p> <p>資料2 資格要件一覧</p> <p>資料3 採点基準表（第二次審査）（案）</p> <p>資料4 港区保育施設関係補助金審査等業務委託プロポーザル第二次審査の実施に関する留意事項（案）</p> <p>参考資料1 第1回港区保育施設関係補助金審査等業務委託事業候補者選考委員会会議議事録（案）</p> <p>参考資料2 港区保育施設関係補助金審査等業務委託事業候補者募集要項（各様式を含む。）</p> <p>参考資料3 港区保育施設関係補助金審査等業務委託事業候補者選考基準</p> <p>参考資料4 仕様書（案）</p> <p>[席上配付]</p> <p>なし</p>

	<p>1 開会</p> <p>2 第一次審査結果について</p>
委員長	各委員から、第一次審査結果についての講評をお願いする。
委員B	事業者Aは具体性の面でインパクトに欠け、セキュリティ面も不安に感じた。事業者B及び事業者Cは、業務の全体像見えているように感じられる。
委員C	<p>事業者Aは熱意が感じられず、全体的に低い評価とした。1つ評価を落とせるのであれば修正したい。</p> <p>事業者Bは、安心感のある提案書であり背景や目的についても正しく理解されている。様式8の研修内容の部分について第二次審査で質問したい。</p> <p>事業者Cは、全体的にわかりやすい。組織もしっかりとしており、運営にも安心感がある。様式7の繁忙期の対応に庁舎外で作業をするとの記載があるが、これは区として問題ないのか確認したい。</p>
委員D	<p>事業者Aは具体性に欠けており実現性も乏しいと感じた。実績をみると、一時的な給付作業が主体で、独自性を発揮する業務は難しいのではないかと感じた。</p> <p>2番目は事業者B。全体的には網羅されているが、履行後のスケジュールが不明確だった。業務改善提案の部分、将来的にどう改善していくかの具体的な記載が足りなかった。</p> <p>事業者Cは、区の課題と趣旨を理解できており、段階的な作業構築がイメージしやすい。会社としてのバックアップ体制も評価できる。</p>
委員E	<p>効率的・DX化に対する部分を重視して採点した。</p> <p>事業者Aは区の現状全く理解していないのではと感じた。</p> <p>事業者Bは、具体性もあり課題も見えているが、DX化の提案が効率化をイメージしづらかった。</p> <p>事業者Cは、改善工程が明確化されておりDX化についても具体的に記載されていた。電話にAIを活用することはぜひ取り入れたいと感じた。</p>
委員A	事業者Aへの委託は不安に感じた。事業者B及び事業者Cはほぼ同じ評価であった。
委員長	評価について、修正したい部分はあるか。
委員C	<p>事業者Aに対する評価、「2(4)業務改善の提案について【様式9】(イ)」の部分修正したい。</p> <p>また、直接の評価には関係しないが、先ほども触れた庁舎外での作業について、区の見解を聞きたい。</p>
事務局	業務の性質等により、慎重に判断する必要がある。ただし、他自治体においてこのような個人情報を扱った業務を庁舎外で行っている例もあるため、参考にして決定したい。
委員長	その他変更は特にないか。
全員	なし。
委員長	第一次審査の集計結果は、事業者Aは615点、事業者Bは744点、事業者Cは863点で確定していいか。
全員	(異議なし)

委員長	次に、二次選考へ進める事業者を決定する。 区の内部目安では第一次審査の満点の6割となっている。事業者Aについては6割に満たず第二次審査での逆転も困難と思われるが、事業者B及び事業者Cについては6割を超えており、各委員質問したいこともあるため、2者を第二次審査へ進める形で良いか。
全員	(異議なし)
委員長	第二次審査へ進むのは事業者B及び事業者Cの2者に決定する。
委員長	<b>3 第二次選考について</b> 第二次審査について事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局から説明) ・採点基準表・審査方法 ・第二次審査における留意事項
委員長	資料3について意見はあるか。
全員	特になし。
委員長	資料4について意見はあるか。
委員B	「業務引き継ぎプロセス」の意について、事業者Bと事業者Cで認識が異なっているように見える。統一しておいた方が良いのでは。
事務局	実際の業務の兼ね合いもあるため、審査が止まることがないように、前の事業者の契約期間中に引継ぎを行う。
委員長	プレゼンテーション・質疑応答の時間は特に問題ないか。
全員	特になし。
委員A	第二次審査の資料については、通常パソコンを使ってスライドを投影することが多いのか。
委員D	上手く作動せず時間取られることも多いため、保育系では事業者からの提案書のみで行うことが多い。
委員B	新たな資料は使用しないという前提であれば問題ないのではないか。
委員長	第二次審査は資料4の留意事項通りに実施する。 質問を聞く際は、各委員が聞きたい内容を聞くということで良いか。
全員	問題なし。
	<b>4 閉会</b>